（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	R8年2月10日	～	R8年3月15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	26名	（回答者数）	19名
○従業者評価実施期間	R8年2月10日	～	R8年3月10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7名	（回答者数）	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年３月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「楽しいが広がる場所」のコンセプトを目指して、集団レクリエーション活動を行っている。	曜日を設定し、他者とのコミュニケーションや関わり方、ルールを守る等の社会性を身につけるような内容を取り入れている。	支援員は必ず振り返りシートを記入しているので、今後もマンネリ化することなくPDCAサイクルを行っていきたい。 また、土曜日のイベント活動も更に拡充していきたい。
2	保護者との連携を重要視し、相談や連絡などを丁寧に対応している。	日々の送迎時での会話や報告、連絡帳にて情報共有を丁寧に行っている。最近では、ＨＰやSNSにて事業所内の様子を積極的に発信を行っている。	今後は、更に必要に応じて保護者支援の拡充を図り、また、学校や相談支援事業所等関係機関とも連携を深めるよう努めていきたい。
3	支援員間での情報共有の徹底に努めている。	日々のミーティングを必ず実施し、児童の体調及び保護者からの連絡事項等の情報共有を行い、ミーティング日誌にて記録を残している。情報共有できていることで、同じ方向性を持っての児童の支援が行えている。	今後は、児童一人ひとりのニーズの情報共有を行い、経験の浅い職員も支援の質を高めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	構造上の問題ではあるが、スペースの狭さを感じる時がある。	利用児童数及び高学年児童が増加したためにスペースが確保できていない時がある。	限られたスペースの中で安全に留意し、個別活動と集団活動の場所を確保していきたい。
2	放課後児童クラブや地域の児童と活動する機会が少ない。	放課後児童クラブは学校内にあり、どのように交流を持って良いのか手だてがわからない。	日々の活動で地域の学校や公園に行っているので、積極的に情報収集し、少しずつでも他団体との交流を持ち、地域に開かれた活動をしていきたい。
3			

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイSES沼津するが校

公表日　R８年　３月　29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数が多い時は分かれて屋外活動をしている。少し狭い感じはあるが、安全面を考慮してスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		小集団で活動している。交代しながらできている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		配置替え等、工夫をしている。	玄関の段差を改善の余地がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		児童と一緒の清掃活動をとりいれ、こまめな掃除ができている。窓をあけるなどの対応をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室を利用できるようにしている。クールダウン時、体調不良時、使用できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		情報共有できている。定期的に会議が開催されている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表をもとに改善を行っている。全体共有をし改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		決まった時間にミーティングをしている。	改善への接続フローは見直しの余地がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	振り返り等行い、改善につなげている。	外部評価を取り入れたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に開催されている。数回、色んな研修に参加している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		管理者、児発を中心に作られている。一人ひとりのニーズにあったものを作成、支援にあてている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的に会議が開催されている。作成できている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		決まった時間のミーティング、書面にて共有。職員同士での意見交換ができている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		ミーティングや書面での共有ができている、行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		PCにて記録し、紙ベースでも保管し確認は行っている。	フォーマルアセスメントに活用法や学習機会の余地がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		管理者、児発を中心に作られている。一人ひとりに合わせたニーズや情報共有したことを活かした支援をできている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		正社員を中心に行っている。一人に任せず分担し、ミーティング時に意見交換ができるように行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		全員からの意見を取り入れている。児童からの意見も積極的に取り入れている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		ミーティングにて情報共有し支援を行っている。集団と個別活動の時間を確保するように、工夫を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		決まった時間にミーティングが行うように時間を作り活動内容を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		LINEにて行っている。必要重要事項は口頭で共有ができている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		PCにて記録をしている。行動観察の記録、レクの振り返りをしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に行われている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		行われている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選択できる活動を取り入れている。遊び中も本児自らが選択できるような問いかけをしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、児発が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		以前よりも関係機関とのつながりができている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		書面だけでなく、電話、送迎担当者と情報共有をしている。全体共有も含め、適切に丁寧に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援事業所との情報共有がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	ニーズは見られない。外出行事にて地域の子どもとの関わりを作っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		今後は積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎担当者と情報共有をしている。時に電話での相談も行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	さらに向上していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に管理者より説明をしている。保護者より質問がある際は丁寧に対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者と情報共有し確認している。ニーズを考え、意思表出できるような支援につなげている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		同意のサインをいただいている。得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		電話や対面にて丁寧な対応に心がけ、助言や支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		ニーズは見られないが交流の場を作りたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速かつ適切に対応している。職員同士で共有、管理者が対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS中心。HPやインスタで積極的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		同意書をもとに留意している。SNS等でも顔や名前等隠している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童に合わせて伝わりやすいコミュニケーションの配慮ができている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域向けの行事を行えていないが、機会があれば他団体との交流を積極的に行いたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に開催されている。防災訓練、避難訓練等実施できている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に行われている。数か月に一回行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者と電話や連絡帳にて確認をしている。服薬等確認をできている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		書面だけでなく、保護者と確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修、訓練が行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		契約時に説明している。所内での様子を伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット集積を増やすための書式を改定して情報共有をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修が行われている。常に意識を持っての支援を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明している。	